

平成 29 年 8 月 定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 8 月 31 日 (木) 開会 15 時 00 分 閉会 15 時 56 分

2. 場 所 福井市役所 8 階第 3 委員会室

3. 出席者

教育長	吉川 雄二
教育長職務代理者	玉木 誠
教育委員	佐藤 藤枝
教育委員	木村 敦子
教育委員	春木 伸一

< 事務局職員 >

教育部長	村田 雅俊
少年対策参事官	北川 登
教育次長	齊藤 正直
生涯学習室長	桑原 浩明
図書館統括館長	渡邊 智洋
教育総務課長	久々津 久和
学校教育課長	小林 真由美
保健給食課長	川上 順子
青少年課長	下山 博幸
スポーツ課長	村西 正明
文化財保護課長	天谷 賢一
図書館長	渡邊 正英
みどり図書館長	吉村 瞬潤
桜木図書館長	道佛 浩二
調整参事	大久保 容子
教育総務課副課長	前川 昌司
教育総務課主任	山本 恭唯
教育総務課主幹	吉田 浩一

4. 議 題

議 案

第 8 号議案 平成 30 年度～ 31 年度使用小学校教科用図書の採択について

第 9 号議案 福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

第 7 号報告 専決処分 (福井市社会教育委員の委嘱) の承認を求めることについて

第 8 号報告 専決処分 (福井市図書館協議会委員の委嘱) の承認を求めることについて

報 告

(1) 平成 28 年度児童生徒の問題行動調査・不登校状況等生徒指導上の諸問題に関する調査について

(2) 全国学力学習状況調査の結果公表の取り扱いについて

5 . 議事の経過

(1) 開会、教育長あいさつ

(2) 会議録署名委員の指名 佐藤 藤枝 委員 木村 敦子 委員

(3) 議事の要旨

吉川教育長	まず、第 8 号議案 平成 3 0 年度～ 3 1 年度使用小学校教科用図書の採択について、事務局から説明を求める。
事務局 (学校教育課長)	平成 3 0 年度から道徳が教科化となるにあたって、その教科書を採択するもので、東京書籍の「新しい道徳」を選定したい。選定にあたっては、地区協議会及び調査研究協議会をそれぞれ 2 回開催し、協議を重ねてきた。大きな理由として、教師の裁量で自由に授業を組み立てやすい内容となっていることである。なお、特別支援学級においては、この教科書以外に、文部科学省著作教科用図書選定資料、もしくは一般図書選定資料を採択することも可能である。
吉川教育長	ただ今の説明について、ご意見ご質問等はないか。
春木委員	特別支援学級はこの教科書（東京書籍の「新しい道徳」）以外の教科書を選んでもいいということか。
事務局 (学校教育課長)	この教科書（東京書籍の「新しい道徳」）が特別支援学級の子どもたちにとって難しいというのであれば、文部科学省著作教科用図書選定資料、もしくは一般図書選定資料の中から選ぶこともできる。
春木委員	道徳の教科は議論の対象になりやすい教科なので、採択の過程を記録として公表することはないのか。
事務局 (学校教育課長)	採択協議の場である地区協議会での議事録は、時期が来たら公表される。
吉川教育長	9 月 1 6 日までが採択期間なので、それ以降に公表される予定。ただし、誰が発言したかは伏せられる。
吉川教育長	他に何かないか。 特に意見なし
吉川教育長	それでは、第 8 号議案 平成 3 0 年度～ 3 1 年度使用小学校教科用図書の採択

について、原案のとおり承認することでご異議ないか。

異議なしの声

吉川教育長

第8号議案を原案のとおり承認する。

吉川教育長

次に第9号議案 福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、事務局から説明を求める。

事務局
(スポーツ課長)

福井市スポーツ推進審議会委員について、すべての委員の任期が8月31日で満了となることから、各団体の推薦を受け、14名の委員を新たに委嘱するものである。なお、任期は平成29年9月1日から平成31年8月31日の2年間である。

吉川教育長

ただ今の説明について、ご意見ご質問等はないか。

特に意見なし

吉川教育長

それでは、第9号議案 福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、原案のとおり承認することでご異議ないか。

異議なしの声

吉川教育長

第9号議案を原案のとおり承認する。

吉川教育長

次に、第7号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。

事務局
(生涯学習室長)

福井市社会教育委員の委嘱について、すべての委員の任期が6月30日で満了となったことから、16名の委員の新たな委嘱を専決処分したので、その承認を求めるものである。16名のうち、11名は前期からの再任、5名が新任である。なお、任期は平成29年7月1日から平成31年6月30日の2年間である。

吉川教育長

ただ今の説明について、ご意見ご質問等はないか。

玉木委員

名簿中の小林委員の肩書について、「主婦」となっているが、問題ないのか。

事務局
(教育部長)

かつての「看護婦」は完全に差別的な言葉なので、今は「看護師」という表現をしているが、この場合は「主夫」という言葉もあるので、「主婦」でも特別問題ないのではないか。

事務局 (生涯学習室長)	本人にも確認を取り、了解は得ている。
吉川教育長	他に何かないか。
	特に意見なし
吉川教育長	<p>それでは、第7号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求め ることについて、報告のとおり承認することでご異議ないか。</p> <p>異議なしの声</p>
吉川教育長	第7号報告を報告のとおり承認する。
吉川教育長	次に、第8号報告 専決処分(福井市図書館協議会委員の委嘱)の承認を求め ることについて、事務局から説明を求める。
事務局 (図書館統括館長)	福井市図書館協議会委員の委嘱について、任期の途中ではあるが、推薦団体の 人事異動等により後任の推薦があったことから、別紙の2名の委員に対し、新た に委嘱を行なったことについて、その承認を求めるものである。なお、任期は前 任者の残任期間で平成30年6月30日までである。
吉川教育長	ただ今の説明について、ご意見ご質問等はないか。
	特に意見なし
吉川教育長	<p>それでは、第8号報告 専決処分(福井市図書館協議会委員の委嘱)の承認を 求めることについて、報告のとおり承認することでご異議ないか。</p> <p>異議なしの声</p>
吉川教育長	第8号報告を報告のとおり承認する。
吉川教育長	次に報告事項に移る。報告(1)平成28年度児童生徒の問題行動調査・不登 校状況等生徒指導上の諸問題に関する調査について、事務局から説明を求める。
事務局 (学校教育課長)	<p>平成28年度の児童生徒の問題行動調査等生徒指導上の諸問題に関する調査 について、本市の速報値ということで報告する。</p> <p>暴力行為の発生状況については、小学校は1件、中学校は0件である。いじめの 状況については、小学校では解消しているものが217件、解消に向け取組中が 48件、中学校では解消しているものが58件、解消に向け取組中が12件、他</p>

校への転校が1件である。不登校の状況については、30日以上欠席者が小学校では76名、中学校では180名である。

なお、平成29年1月に「いじめの防止等のための基本的な方針」が改訂され、いじめの定義が変わったことから、いじめに関する数値が小中学校とも平成27年度と比較して多くなっている。

以下、会議資料をもとに結果の概要を説明

吉川教育長

ただ今の報告について、何かご質問等はないか。

春木委員

暴力行為の定義はどうなっているのか。

事務局
(学校教育課長)

暴力行為の程度については、学校で判断している。

春木委員

定義によって数は変わってくるのではないか。

事務局
(学校教育課長)

暴力行為の原因や経緯も含め、学校で総合的に判断しているが、これに含まれないような小さな事件も、学校教育課には報告を上げてもらっている。

春木委員

器物破損は客観的に数を把握できるが、対人関係の暴力行為はそれが難しいので、相手に怪我をさせてしまったなどの客観的な基準を示すべきではないか。

私が診ている発達障害の中学生の中には、キレて暴力を振るうケースもあるが、それらが(調査の)数字に上がっていないのが気になる。

吉川教育長

いじめの状況について、「解決に向けて取組中」の数字は、いじめが終息してから3カ月を経過しないものも含んでいるということか。

事務局
(学校教育課長)

そのとおりである。

吉川教育長

小学校の不登校が増えている要因について分析しているのか。

事務局
(学校教育課長)

学年別に見ると低学年で増えている。これまで低学年の不登校はほとんど無かったが、最近になり中高学年と同じくらい増えてきた。原因としては、家庭的なものや、発達障害的なものが挙げられる。

春木委員

家庭や母親から離れることを怖がる分離不安もあるのか。

事務局
(学校教育課長)

それもあるが、逆に親が子どもを離さないケースも稀にある。ちょっとでも学校が嫌なら行かなくてもいいよ、という方針の親が増えてきている。

玉木委員	色々なところで「無理に行かなくていいよ」と話をする機会があるが、それは最悪の事態にならないために「行かなくていいよ」であって、普段は行かなきゃいけない。
春木委員	NHKで不登校の番組をやっていたが、学校が嫌なら行かなくていいという考えは、一般社会にも浸透しつつある。
玉木委員	低学年で不登校になった子どもたちは、幼稚園や保育園でもそのような状況だったのか。
事務局 (学校教育課長)	そんなことは無い。幼稚園や保育園との連携の中で、遊びから学習へ緩やかに馴れるようにしているが、学習に重きを置く頃になると嫌になってくるケースがある。
春木委員	学校不適応対策委員会は今でも継続しているのか。
事務局 (学校教育課長)	今でも続けている。今年は低学年の不登校を課題としてあげていきたい。
佐藤委員	親が勉強する機会もあったほうがいいのではないか。
吉川教育長	親の問題だけではないが、(不登校の)初期の段階では、子どもを押し出して欲しいところではある。
佐藤委員	昔と比べると、特別支援学級があったり、先生方の指導力が上がったりと、学校の中での居心地も良くなっている。
吉川教育長	チャレンジ教室もフル活動で頑張っているが、不登校の問題はなかなか解消しない。教育委員会としても黙って見ているわけにもいけないので、総合教育会議などで議論した上で、取組を進めていきたい。
吉川教育長	他に何かないか。
	特に意見なし
吉川教育長	次に報告(2)全国学力・学習状況調査の結果公表の取り扱いについて、事務局から説明を求める。
事務局 (学校教育課長)	8月28日に、文部科学省が平成29年度全国学力・学習状況調査の結果を発表した。市の平均値及び全国と福井県の平均値は会議資料のとおりである。本年度から過度の競争を避けるため、正答率の表記は整数の値となった。今後は教科

ごとの研究委員会を立ち上げ、調査結果の分析と今後の指導のあり方について検討し、9月末を目途に各学校にリーフレットを作成配布する予定である。本市の結果公表については、本市の平均正答率や良い点・課題点、およびその分析・対策等を、特徴的なものに絞って9月末を目途に本市ホームページにて公表する予定である。

以下、会議資料をもとに結果の概要を説明

吉川教育長

ただ今の報告について、何かご質問等はないか。

春木委員

平均の広がりというか、どのような分布のカーブを描いているのか。

事務局
(学校教育課長)

福井は下位の部分が少なく、全体的に平均付近が高いきれいなカーブを描いている。福井の教え方として、下位の子に手厚い指導をしているので、全国と比較してもカーブは上がっている。そのかわり上位も少ない。

吉川教育長

中間層以上が多く、超トップがいない代わりに下位層も少ない。

玉木委員

質問紙の全国と比べて10ポイント以上良いところの内容を見ると、学校で不登校となる要因は無いように思える。

事務局
(学校教育課長)

実際の不登校との相関関係は難しいが、小学校でいうと全児童数に占める不登校の数というのは、1パーセントにも満たないので、それほど多いというものではない。

佐藤委員

福井は三世代同居が多いはずなのに、家の人が学校の行事に来る割合が少ないというのは意外だ。

木村委員

全国平均よりは少ないが、数値自体は以前よりは上がってきているのではないか。

吉川教育長

具体的なパーセンテージはどのくらいか。

事務局
(学校教育課長)

今は具体的な数値を持ち合わせていないが、昨年や一昨年の結果では課題として上がっていなかった。一方で、福井はこれまで夢や目標をもっている子が低いと言われてきたが、今年度の中学校の結果では向上した。

吉川教育長

教育ウィークなども設定して、学校開放もしているはずだが。

玉木委員

運動会や文化祭は比較的多いが、教育ウィークや授業参観は、我々が見学に行っても少ない印象だ。

吉川教育長	他に何かないか。
	特に意見なし
吉川教育長	予定していた審議事項は以上であるが、他に何かないか。
事務局 (保健給食課長)	第66回福井市小学校連合体育大会の案内であるが、9月14日(木)に開催するので、教育委員の皆様はご出席の上、児童を激励していただきたい。 また、9月10日号の市政広報に学校給食の特集を掲載したので、ご覧いただきたい。
吉川教育長	最後に事務局から次回の日程についてお願いする。
事務局 (教育総務課主任)	次回の定例教育委員会について、9月28日(木)午前10時00分から、場所は福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。
吉川教育長	以上をもって会議を終了する。

平成29年 9月28日

署名委員 佐藤 藤枝

署名委員 木村 敦子

会議録作成職員 吉田 浩一